

清和台地区 第2回地域説明会質問一覧

12月13日(土) 10時～ 清和台小学校

発言順	質問	回答
1	<p>6ページの小学校の児童数の推移ですが、令和13年度を見ると清和台小が23人、清和台南小が15人で、児童数が38人です。1クラス35人以上となると2クラスにするので、結局18人のクラスになります。</p> <p>今後、統合して人数が減った場合は、再度単学級に戻すのか、それとも複数クラスを維持する方針となるのでしょうか。</p>	<p>全国的な傾向として、今後も子どもの数が減少していくことが予想されています。この状況を踏まえると、仮に清和台小学校と清和台南小学校の2校が統合した場合でも、将来的に学年の人数が35人以下になり、単学級が発生する可能性もあると考えられます。そうした場合に、教員確保の観点から複数クラスを維持することは、現時点では難しいと考えています。</p> <p>そのため、35ページにありますように、将来を見据えるとA案（小学校のみの統合）で検討するのではなく、B案（小中一貫）、C案（特別支援学校との連携）のように、中学校との縦の関係を深め、9学年を一緒に考えていくような検討も必要だと考えています。</p>
2	<p>65歳以上の高齢化率は、全国平均に対し川西市は高いです。まちづくりの視点から、人口増加や若者増加への対策をどのように進めていくのでしょうか。</p> <p>また、猪名川町のように、小規模校のまま維持する選択肢は考えられないのでしょうか。</p>	<p>人口減少は全国的な課題であり川西市単独で解決するのは難しいですが、市の総合計画においては人口減少を見越した施策が進められています。その中で教育面から考えると、清和台地区として魅力的な教育環境を作ることが子育て世代を呼び込むことにつながるのだと考え、今回A～Cの3案を提案したところです。</p> <p>また、ひとつの学校にすることで空く学校に関しては、どのように活用することが清和台地区の活性化につながるのか、並行して地域の方々と話し合いを進めていきたいと思えます。</p> <p>また、小規模校に関しては、保護者からは「人数が多い方が教育上のメリットがある」との声が多く寄せられているため、川西市としては望ましい学校規模を維持する方向で考えています。</p>
3	<p>統合に賛成ですが、中学校の階段は段差が大きいため、小学生には危険ではないかと思えます。よって、清和台小か清和台南小のどちらかを選ぶべきではないでしょうか。</p> <p>また、スクールバスなどの通学支援については、どのように考えていますか。</p> <p>統合して廃校になった学校は、老人ホームを作るのが良いと思えます。</p>	<p>A～C案のうち、どの教育環境が実現可能かを検討し、それに適した場所を選定したいと考えています。</p> <p>また、中学校を利用することになった場合、ご指摘いただいた中学校の階段の段差は、国の基準を満たす中で適切に対応してまいります。</p> <p>通学支援については、スクールバスの導入を中心に、保護者のニーズを聞きながら検討します。</p>
4	<p>児童との意見交換で、賛成・反対のどちらを思っている子が多いのか教えてください。</p> <p>また、今後のスケジュールのゴールはいつ頃でしょうか。</p>	<p>どちらの小学校も、学校規模を大きくすることに前向きな児童が約6割、現状維持を望む児童が約4割という結果でした。</p> <p>スケジュールに関しては、来年7～8月にA～C案の中でどの案で進めるかを決定する予定です。並行して、通学支援などその他の協議事項についても検討を進めていきます。その後、準備委員会等を立ち上げ、学校運営など細かい部分を決めていきたいと考えています。計画確定から建設完了までは、設計に1年、工事に2～3年を要するため、少なくとも丸3年以上が必要と見込んでいます。</p>
5	<p>私立学校の誘致は考えられませんか。猪名川町の学校跡地を活用した私立学校誘致の事例があり、カリキュラムの多様性の点で私立学校の方が柔軟に対応できるのではないかと思います。</p>	<p>私立学校誘致のアイデアは可能性があると考えていますが、猪名川町の事例は「学びの多様化学校」として、通常の学級に馴染みにくい児童を対象にしています。一般的な市立学校と同様の形態では、児童数も減少しているため、私立学校としても経営が厳しい状況となる可能性があり、異なるコンセプトでないと難しいと感じています。</p> <p>跡地活用に関しては地域のニーズを聞き、教育面からアプローチするのも含めて検討を進める必要があると考えています。</p>
6	<p>小中一貫校にするパターンの場合、清和台中学校に小学校2校を統合する形になるのでしょうか。それとも、校舎をわけて考えるのでしょうか。</p> <p>また、参考としている取組事例はありますか。</p>	<p>小学校と中学校が一緒に学ぶ施設としては、小中一貫校と義務教育学校の2パターンがあります。いずれも、小学生が中学生を学びのモデルとして身近に感じられるため、児童に良い影響を与えられと考えられます。また、中学生が小学生と関わることで、思いやりの心を育むことも期待できます。</p> <p>さらに、柔軟なカリキュラム運用が可能となり、中学校の専門性を小学校の授業に取り入れたり、中学校での学び直しを円滑に行えたりできる点も魅力です。このようなメリットを踏まえると、やはり施設を一緒にする方がより効果的だと感じています。</p> <p>参考にして自治体は、加古川市です。義務教育学校を視察し、話を伺いました。</p>

清和台地区 第2回地域説明会質問一覧

12月13日(土) 14時～ 清和台南小学校

発言順	質問	回答
1	<p>6ページの小学校の児童数の推移ですが、令和13年度を見ると清和台小が23人、清和台南小が15人で、児童数が38人です。1クラス35人以上となると2クラスにするので、結局18人のクラスになります。</p> <p>今後、統合して人数が減った場合は、再度単学級に戻すのか、それとも複数クラスを維持する方針となるのでしょうか。</p>	<p>開校の時期については、令和8年度8月頃に案を提示し、その後、年度内に方向性を決定する予定です。学校の増築や工事が必要となる場合には3年以上、工事が不要な場合でも準備期間として約1年程度かかることが想定されるため、令和9年度から開校することは難しいと考えています。</p> <p>また、まちづくりに関しては企画財政部と相談しながら進めているところです。今後は企画財政部が窓口となって、どのように進めていくかも含めて地域の皆さまと相談しながら進めていく流れになる予定です。この会で地域の皆様からいただいたご意見は企画財政部へ共有させていただきます。</p>
2	<p>まちづくりの視点も同時に聞きたいので、市長部局も同席した上で説明会を開いてください。</p>	<p>ご意見として賜ります。</p>
3	<p>統合後、先生の負担はどの程度減るのでしょうか。</p> <p>また、教師や保護者だけでなく、学校を地域全体で見守る体制は整備されるのでしょうか。</p>	<p>統合によって学校規模が大きくなった場合、教職員の負担は軽減されると考えています。例えば、1学年を複数の教職員で運営することで役割分担が可能となり、学年運営や校外活動などがより円滑に進むと考えています。さらに、教職員で分担して受け持つ校務分掌に関しても、教職員の数が多くなることで1人あたりの負担は軽減されると考えています。</p> <p>また、地域の皆様には現在も学校運営協議会などを通してご協力いただいております。今後も引き続きご協力いただきたいと思います。</p>
4	<p>清和台小と清和台南小だけでなく、小中一貫校や川西養護学校との統合も考慮されているのでしょうか。</p>	<p>小学校同士を統合しても、将来的に再び児童数が減少し単学級になる可能性があります。そのため、今回A～Cの3案を提示しました。B案およびC案では、中学校や川西養護学校を含めてひとつの学校にすることを検討しています。清和台地区にとって教育的な魅力のある学校づくりを目指し、令和8年7～8月頃に方針を決定する予定です。</p>
5	<p>スクールバスの運行は、どのように調整されるのでしょうか。立ち乗車が発生するような過密なバス運行は子どもたちにとってストレスにならないか心配です。</p>	<p>スクールバスの運行については、保護者のニーズに合わせて検討していきます。スクールバスを運行する場合は、原則として1人1座席で着席する形を想定しています。詳細は現段階でお答えできませんが、コスト面も考慮しながら限られた予算の中で対応していくことになります。</p>
6	<p>小学校低学年でアシスト自転車を使用して保護者が送迎通学することは許可される予定ですか。</p>	<p>現在は具体的な通学支援の方針は決まっていますが、保護者のニーズを踏まえて今後検討を進める予定です。アシスト自転車の利用に関するご意見も参考として賜ります。</p> <p>視察した加古川市の義務教育学校では、通学支援を行う範囲や対象学年、通学コースなどが詳細に設定されていました。このような事例を参考にしながら、令和8年7～8月頃に具体的な内容を決めていきます。</p>
7	<p>川西養護学校も含めて検討するのは良い案だと思いますが、小学校の統合は一日でも早くやるべきだと考えています。そのため、増築等が必要になり、開校に時間がかかるのであれば、小中一貫校をめざす案には疑問があります。</p> <p>小中一貫校の必要性について教えてください。</p>	<p>小中一貫校の実施については、全国的に事例が増えています。そのメリットとして、子どもたちが上級生の姿を身近に見ることで学びのモデルを知ることができ、中学生が小学生に優しく接することで思いやりの心を育むなどが挙げられます。</p> <p>また、中学校の教員が小学校で授業を行ったり、中学生が学び直しの際に小学校の教員から補充的な学習を受けたりする仕組みも可能です。さらに、9年間を見通したカリキュラムの編成が可能となるため、地域学習の探求の時間を設けたり、1年生から外国語教育を導入するなど、教育的なメリットがあると考えています。</p> <p>一方で、増築が必要となるため、開校には一定の時間を要します。今後、保護者のニーズを踏まえながら、A～C案について検討していく予定です。</p>
8	<p>スクールバスを運行した場合、学年ごとに下校時間が異なり、待ち時間が発生することも考えられます。清和台地区の子どもたちが歩いて通える範囲として、中学校の校舎と一緒に学べるようにしたら良いと思います。</p>	<p>中学校の校舎を利用する案についてはご意見として賜ります。</p> <p>スクールバスの運行については現時点で決定していません。自治体によっては下校時間に合わせて2回に分けて運行しているところもありますので、今後、他自治体の事例を参考にしながら、台数や運行本数について検討していきます。</p>

清和台地区 第2回地域説明会質問一覧

12月14日(日) 10時～ 清和台公民館

発言順	質問	回答
1	<p>6ページの小学校の児童数の推移ですが、令和13年度を見ると清和台小が23人、清和台南小が15人で、児童数が38人です。1クラス35人以上となると2クラスにするので、結局18人のクラスになります。</p> <p>今後、統合して人数が減った場合は、再度単学級に戻すのか、それとも複数クラスを維持する方針となるのでしょうか。</p>	<p>特別支援学級には自閉・情緒学級や知的学級などさまざまな種別がありますが、ひとつの学校になった後もこれまで同様に、一緒に学ぶ形を維持します。特別支援学級は基本的に1学級8名で編成されますが、2校がひとつになるために定員を超える場合は2学級になります。</p> <p>また、川西養護学校はセンター的機能を持ち、市内各校の特別支援学級を巡回し、アドバイスや意見交換を行っています。このサポートはひとつの学校になった後も継続していきます。</p>
2	<p>昨日、清和台小学校と清和台南小学校で実施された説明会で、どのような意見が出たのか教えてください。</p>	<p>前日の説明会ではどちらも20名程度の参加がありました。統合については賛成意見が多く、統合先として清和台中学校が適しているとの提案も寄せられました。</p> <p>また、跡地の活用や小中一貫教育についての質問もありました。通学支援に関して、スクールバスの導入を含めた具体的な対策をしっかりと検討してほしいというご意見もありました。このほか、開校までのスケジュールに関する質問もありました。</p>
3	<p>不登校の児童やサポートルームに通っている児童への対応はどのように考えていますか？</p>	<p>学校に来づらい子どもたちにはさまざまな背景があり、個々の状況に応じた対応が必要です。現在、各校にサポートルームを設置して子どもたちの心情を丁寧に見守り、担任とも連携しながら進めています。新しい学校になった場合でも、サポートルームは設置し、継続して支援を行います。</p>
4	<p>けやき坂小も人口減少が進んでいるようなので、けやき坂小も含めた検討が必要だと思います。今後どのように対応していくのでしょうか？</p>	<p>現在、けやき坂小学校は各学年に2クラス以上あるため、市の方針としては学校規模を見直さなければならない状況にはありません。しかしながら、児童数は減少傾向にあり、将来的に学校規模の見直しが必要になる可能性があると考えています。</p> <p>また、今回提示したB案やC案が進められた場合、小中一貫教育を導入する案が検討されており、けやき坂小学校へも影響を及ぼす可能性があります。そのため、清和台地区の現在の学校のあり方の進捗状況について、けやき坂小学校の学校運営協議会に説明を行いました。今後は、けやき坂小学校の保護者の皆さんから意見を伺う場を設けたいと考えています。</p>
5	<p>けやき坂地区に関連して、けやき坂小学校とけやき坂中学校の統合校を作るという考え方もアイデアとして視野に入れて検討をお願いします。</p>	<p>ご意見として賜ります。</p>
6	<p>学校統合だけでなく、清和台や川西市の今後のまちづくりについて、他の部署との連携を含めてどのように進めていく計画があるのか、議論状況があれば教えてください。</p>	<p>人口減少は全国的な課題であり、川西市単独で解決するのは難しいと考えています。総合計画においては人口減少を見越した施策が進められており、学校を含む公共施設の配置を見直し、集約化を図りながら内容を充実させることを1つのコンセプトとしています。したがって、学校の統合に関しても、単なる統合ではなく、より魅力的な学校にするためのきっかけとして捉え、B案やC案で提案している小中一貫校や養護学校との一体化も視野に入れています。加古川市の義務教育学校では、校内に公民館が併設されています。このような事例を参考に教育と地域活動が共存する場所を作ることは、清和台の新しいまちづくりの一助となると考えています。</p> <p>また、統合後の学校跡地を活用したまちづくりについては市長部局と協力し、地域住民の皆さまと相談しながら進めていきます。</p>
7	<p>清和台地区の小学校は統廃合の方向で進められていることは理解していますが、これにより北部地域が衰退し、中央部に集中していく懸念があります。小学校は地域の核であり、災害時の避難所や、炊き出しができる給食施設などの重要な役割を果たしています。そのため、少子化が進んでいる中でも小規模校を維持し、地域の発展のために学校の存続を検討してほしいと考えています。</p>	<p>ご意見として賜ります。</p>
8	<p>今回の説明会は市の広報掲示板に掲載されていましたが、地域の回覧板や保護者へのプリント配布、保育所や幼稚園への通知方法など、どのような方法でお知らせしましたか。</p>	<p>清和台小および清和台南小の校区の皆さまには、開催案内チラシを全戸配布しました。それに加えて、両小学校の保護者の皆さまには学校からの連絡ツールである「ミマモルメ」を通じてお知らせしました。</p>
9	<p>子どもが他の小学校の規模や学校生活を見て、自分たちの学校について振り返ることができたのは良かったと思います。今後、清和台南小の児童とも同じように活動できることにに対し、前向きに捉えられたと感じています。</p> <p>ただ、通学距離が長くなることについては保護者にとっては懸念があります。具体的な支援方法が決定した際は、第3回の説明会で教えていただきたいです。通学に関しては、慎重に考慮していただきたいです。</p>	<p>通学支援の方法に関しては、第3回説明会までに保護者の意見を聞きながら、慎重に対応策を検討します。</p>

清和台地区 第2回地域説明会質問一覧

12月14日(日) 10時～ 清和台公民館

発言順	質問	回答
10	今後、統合に向けて清和台小と清和台南小の児童交流会が行われると思います が、新しい環境になじむことが苦手な児童もいるので、交流の回数は多く設定し、 少しでもなじんだ状態で新しい学校生活を迎えられるよう進めていただきたい です。	ご意見として賜ります。 児童が安心して新しい学校での生活を始められるよう、交流を含めた取り組みをしっかりと進めてまいります。
11	統合をきっかけに不登校児が増えるのではないかと心配しています。不登校に なってから対策を講じるのではなく、不登校の児童が増えないようにするための手 立てはどのようにしますか。 スクールカウンセラーを早期に設置して、両校の小学校の保健室で相談できる体 制も必要だと思えます。	統合の有無に関わらず、学校に来づらさを感じている子どもたちへの支援については、普段から重視しています。すでにス クールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、定期的に校区ごとに巡回しながら教育相談を行い、全小中学校に サポートルームを設置しています。これらと連携することで、ひとつの学校になることに対して不安がある子どもについては、 教育相談の形をとりたいと考えています。 また、本説明会終了後には、どのような方向性になったか子どもたちに報告を行い、ひとつの学校になることに対する不安に ついてもしっかり把握しながら進めていきます。
12	統合後にかかる予算はどのくらい想定されますか。	現状では、小学校1校あたり年間約7,000万円の運営費がかかっており、2校分では約1億4,000万円が必要となっています。 一方、仮に統合した場合、運営費は1校分の約7,000万円となると想定されます。 ただ、A～Cの3案のいずれになるかによって、増築工事や通学支援としてのスクールバス導入など、追加の予算が発生する可 能性があります。これらは大きな予算が必要になる可能性もあるため、慎重に検討を進めていきます。
13	通学支援はスクールバスの運行または定期代の補助が考えられるという話では が、スクールバスの運行ルートについて具体的なプランがあれば教えてください。	現在、具体的なルートは決まっていません。バス登校を希望する児童の人数や居住区には毎年変化があると思っておりますので、保 護者のニーズを踏まえ、相談しながら決めていきます。 まずはスクールバスを運行するかどうか決定し、運行する場合は保護者と相談しながら、効率的なルート設定やバスの必要台 数について検討を進めてまいります。
14	仕事の都合で朝早く出発し、帰りも学童を利用して遅く帰るため、スクールバス には乗れないと思っています。このような状況を考慮し、預ける時間や帰宅時間の 柔軟な対応を検討していただきたいです。	他の会場でも同様の懸念が挙げられました。猪名川町では、学年によって帰宅時間が異なるため、バスは2種類の運行時間で 対応しています。個々のニーズに合わせて保護者の皆さまのご意見を伺いながら、調整を進めていきたいと考えております。
15	教育長のお話を興味深く聞きました。県内では高等学校の統合も進んでおり、統 合をピンチではなく、社会の変革に対応するチャンスとして捉えている動きがある ように感じます。川西市においても、統合に際して従来の教育を刷新したり、新た な取り組みを進める形で議論が行われているのであれば、ぜひ教えていただきたい です。	議論はまだ十分に進んでいませんが、教育課程が9年間になることは魅力のひとつだと感じています。例えば、加古川市の義 務教育学校では9年間で従来の「6年と3年」で分ける形式ではなく、「4年・3年・2年」という3つの集団に分けて構成し ています。 さらに、地域の探究学習や外国語教育に力を注ぎ、1年生から9年間を見通したカリキュラムを編成しています。こうした特 色ある教育課程を編制することは十分可能であると考えています。
16	教育長のお話を聞いて「川西モデル」のようなものができることを期待してい ます。	ご意見として賜ります。
17	昭和55年に清和台に家を建てる時は、清和台はいいところだと感じて家を建て ました。しかし、現在は子どもも減り、自治会への加入者も減少しています。清和台 を良いまちにするためには、地域全体で施設やまちづくりを考えるべきです。子ど もや若い世代を引き寄せ、清和台に住みたいと思えるようなまちづくりについて、 市としても考えていただきたいです。	ご意見として賜ります。
18	猪名川町と川西市では人口規模に違いがありますが、猪名川町の統廃合や私学の 小中一貫校の構想などの事例を参考に、川西市や清和台のまちづくりを進めてい ただくことを期待しています。	猪名川町の私学に関しては、学びの多様化学校という一般的な市立学校とは異なるコンセプトの学校だと聞いています。もし そのようなニーズがあるのであれば、参考にしたいと考えています。